

# 山鹿市(熊本県)・四万十町(高知県)と 友好都市提携を締結



市は、熊本県山鹿市と高知県四万十町との友好都市提携を締結しました。

これは、「石の風ぐるま」をゆかりとして、旧有漢町と旧鹿本町、旧大正町が平成11年に締結した提携について、市町村合併で新しく高梁市、山鹿市、四万十町が誕生したことから、このたび、あらためて締結することとなったものです。

「石の風ぐるま」は、山鹿市の一本松公園、四万十町の轟公園にそれぞれ設置されています。

10月6日、秋岡市長、長原市議会議長らが山鹿市を訪問。山鹿市の中嶋市長、高野市議会議長、四万十町の前田町長、味元町議会議長とともに盟約書に署名し、さらなる友好を誓い合いました。

## 山鹿市

平成17年1月15日、山鹿市・鹿北町・菊鹿町・鹿本町・鹿央町の1市4町が合併して誕生。熊本県の北部に位置し、市の面積は229.67km<sup>2</sup>、人口は約5万9000人です。

市の北部には緑豊かな山林や渓谷、中央部を東から西へ貫流する菊池川の流域には田園地帯が広がり、農業が盛んで、特にスイカ、メロンは日本有数の生産を誇ります。

チブサン古墳などの装飾古墳群や古代山城・鞠智城、また江戸時代に豊前街道の宿場町として栄えた町並みや、明治43年建築の芝居小屋・八千代座、伝統工芸品の「山鹿灯籠」や「来民うちわ」など、歴史を今に伝えています。

このほか、山鹿温泉など6つの温泉、毎年8月15・16日に開催される「山鹿灯籠まつり」は多くの観光客でにぎわいます。



一本松公園の石の風ぐるま

## 四万十町

平成18年3月20日、窪川町・大正町・十和村の2町1村が合併し誕生した町で、高知県の西部に位置し、町の面積は642.06km<sup>2</sup>、人口は約2万1000人です。

最後の清流といわれる四万十川の中流域にあつて、東南部は土佐湾に面し、また町の約9割を林野が占める、山・川・海の豊かな自然に囲まれた地域です。

平成18年に「日本の快水浴場100選」に選定された県立自然公園内の興津海岸、奥山に点在する温泉など、さまざま癒やしの場にあふれています。

自然の恵みを生かした農林業が以前から盛んで、農業では仁井田米、スプレー菊、茶など、林業では四万十ヒノキ、シイタケなどが特産となっています。

四万十川のアユや川エビなども特産の一つで、アユの「火振り漁」は夏の風物詩です。



轟公園の石の風ぐるま

## 特急「やくも」号の全列車恒久停車を要望

JR伯備線特急「やくも」号は、現在、全列車(上下合わせて30本)が備中高梁駅に停車していますが、このうち上下合わせて5本は臨時措置によるものです。

市は、全列車恒久停車に向け、市議会、高梁商工会議所、備北商工会、市・町観光協会と「JR伯備線特急利用促進期成会」を組織し、利用促進啓発活動を行っており、10月23日に、実現に向けての要望書をJR西日本岡山支社長に提出しました。

なお、11月末までであった特急「やくも」号の備中高梁駅への臨時停車は、来年2月末まで延長されます。通勤・通学、買い物や旅行にも便利な特急「やくも」号の利用促進にご協力ください。

■問い合わせ JR伯備線特急利用促進期成会事務局 (企画課内☎0209)



入賞者決まる

第3回

高梁市文学選奨

第3回高梁市文学選奨の入賞者が決定し、6部門69点の中から、入選5点と佳作12点が選ばれました。

◆各部門の入選者と  
作品名

(敬称略)

※小説・随筆等部門の入選は該当なし。

《詩》  
「ピンクの雪」



河原 大樹(19)  
(落合町阿部)

《俳句》  
「早稲の香」



官尾 輝子(69)  
(成羽町下原)

《短歌》  
「老いのしづさ」



小林 佐(84)  
(成羽町中野)

《童謡作詞》  
「もんしろちょうのおたんじょう」



角瀬 君子(68)  
(中井町西方)

《川柳》  
「妻」



妹尾 昌美(72)  
(東町)

◆各部門の佳作 (敬称略)

▽小説・随筆等…角森彩香(栄町)

▽詩…《一席》井伏真弓(福山市・市内通学者)、《二席》山田春奈(下谷町)、《三席》角瀬君子(中井町西方)

▽短歌…《一席》谷川絹江(御前町)、《二席》田原啓子(落合町阿部)、《三席》江草照子(成羽町下原)

▽俳句…《一席》柳井明好(成羽町成羽)、《二席》角瀬君子

(中井町西方)

▽川柳…《一席》西井真希(落合町近似)、《二席》小見山由希子(落合町近似)

▽童謡作詞…田辺幹恵(東町)

※入賞作品は、本年度中に小冊子「高梁の文学」として発刊し、童謡作詞部門の入選作品は、曲を付けて来年度の童謡まつりで発表する予定です。

■問い合わせ 社会教育課文化係 (TEL) 9083

紅綬褒章

人命救助に尽くした 後藤さんに



JR伯備線・広瀬踏切で8月に発生した特急列車と大型トラックの衝突事故で、立ち往生したトラックを誘導中、非常ボタンを押した直後に事故に巻き込まれて

亡くなった川上町地頭、後藤克貴さん(当時23)に「紅綬褒章」が授与されました。

この章は「自らの危険を顧みず、人命救助に尽くした人」に贈られるもので、県内では3人目の受章となります。

11月8日に高梁署で行われた伝達式にはご両親が出席され、父親の義信さんに遺族追賞として褒章に代わる銀杯(桐紋)が贈られました。

定住促進の取り組み



10月5日・6日の2日間、「ふるさと回帰フェア2007」が東京・大手町で開催され、全国から154自治体が参加しました。市も「ふるさと回帰自治体相談コーナー」に岡山県とともに県内唯一の自治体として出展し、市への定住推進や営農団地「山光園」(備中町西山)のPRを行いました。

相談コーナーでは、市の住環境、アクセス、定住環境等に対する助成制度の有無などについて質問や相談を受けました。

今後、大都市部で開催される定住に関するフェア等に積極的に参加し、市への定住を推進します。

市は、「高梁市空き農家・空き農地情報バンク制度」により、市内の空き農家・空き農地の情報提供を進めており、10月末の登録件数は空き農家が12件、空き農地が2件です。

また、定住に関する市ホームページや定住希望者向けへのPRパンフレットの作成作業を進めており、定住促進に向けて積極的に情報を発信していきます。

■問い合わせ 企画課定住促進係 (TEL) 0282